



くまもと

県高生連新聞



プロジェクト発表会 生産流通経営部門最優秀賞受賞(農林水産大臣賞) 熊本農業高校



農業鑑定競技会 森林の部 最優秀賞受賞(文部科学大臣賞) 芦北高校 村上正道さん



平板測量競技会 最優秀賞受賞(文部科学大臣賞、国土地理院長賞) 八代農業高校



CONTENTS

- P2～3…… 令和3年度各地区指導者研究大会
- P3……… 令和3年度県高P連研修会
- P4……… 「成年年齢18歳引き下げ」に関するアンケート
- P5～6…… 我が校自慢 家庭科系/福祉科系
- P7……… 学校紹介 御船高等学校/熊本県教育委員会との教育懇談会
- P8……… 熊本県PTA共済のご案内 生徒総合保障制度のご案内

頑張る 熊本県農高生 (祝)

「日本学校農業クラブ全国大会」(通称:農高生の甲子園)が、令和3年10月27・28日兵庫県で開催。全国から1,400人が集い農業関係の技能を競い合った。本県では、熊本農高と八代農高の2グループ、芦北高の村上さんが最優秀賞を獲得した。

2022 JANUARY

Vol. 51

中央地区 済々巒高等学校
大盛況の質疑応答と目頭が熱くなる基調講演

令和3年10月16日に「令和3年度中央地区公立高等学校PTA指導者研究大会」が、本校同心会を幹事校事務局として、12名の参加のもとフードパル熊本にて開催されました。アトラクションでは、本校吹奏楽部の録音による演奏や放送部制作の学校紹介ビデオが披露され、会場を大いに楽しませてくれました。

開会行事後の甲佐高校育友会と熊本高校育友会からの活動報告では、質疑応答が非常に活発に行われ、予定時間を大幅に超過するほどの盛況ぶりでした。今年度は、熊本高校育友会が中央地区の代表校として県大会でも発表を務めることに決まりました。

基調講演には、株式会社シアーズホームHD代表取締役社長の丸本文紀氏をお招きして、「企業が取り組む人材育成とは」という演題のもと御講演いただきました。その中で、育ててくれた親にお礼をするために、新入社員全員の初任給に「親孝行手当」をつけているというお話がありました。この時には、目頭が熱くなった保護者の方もいらしたようでした。

その後の閉会行事では、幹事校を代表して本校同心会平野義登会長がお礼の言葉を述べ、引き続き次期幹事校の松橋高校PTA敷島武士会長から決意表明がありました。最後になりましたが、コロナ禍の中本研究大会を開催するにあたり、御尽力いただきましたすべてのの方々に対して、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。本大会が、今後のPTA活動の更なる発展に寄与することを御祈念申し上げます。



城北地区 菊池高等学校
絆と出会いの大切さ、今後の学校との連携

令和3年10月23日菊池市文化会館にて、「令和3年度城北地区公立高等学校PTA指導者研究大会」を開催しました。開会に先立ち、菊池高校の紹介動画を流させていただきました。

開会行事では、県高P連の夏木会長、城北地区の池部会長、菊池高校の奥園校長からご挨拶いただきました。また、県高P連の夏木会長から前城北地区坂口会長へ、社会教育功労者表彰・知事表彰が渡されました。

開会行事後、元熊本県立済々巒高等学校校長・熊本県公立高等学校長会会長の川上清司氏をお招きし、「心の貯金箱」と題し、講演していただきました。色々な心に残る物語やエピソードをお話しされましたが、子供の教育において、学校だけではなく、一緒に長く過ごす家庭での教育が大事であることや、家族の絆・人とのつながり・出会いの大切さなどについて、改めて考える機会となりました。

研究発表は、鹿本高校から「進路指導に対するPTAの協力」、玉名工業高校から「子どもと共に進路開拓」のテーマで、PTA活動や今後の学校との連携等について発表していただきました。

その後、県高P連の小林事務局長から生徒総合保障制度、各地区代表研究発表会、次年度の研究大会発表テーマについて説明がありました。閉会行事では、城北地区池部会長から城北地区代表校発表がありました。最後に次年度幹事校鹿本商工高校の仲間会長からご挨拶いただき、大会を終了しました。今回、コロナ禍でマスク着用・消毒等感染対策を行いながらの開催となりました。大会開催に際し、ご指導ご尽力いただきました先生方や関係者の方々に深く感謝申し上げます。



天草地区 天草工業高等学校
モバイルの安全利用、進路指導とPTA活動

令和3年10月24日(日)「令和3年度天草地区公立高等学校PTA指導者研究大会」を開催しました。天草地区の大会では、これまで幹事校の体育館で開催されていましたが、計画時が新型コロナウイルス感染症拡大中であった事と部活動への影響を考え、他地区の開催会場を参考にさせて頂き、天草地区ではたぶん初めてとなる学校外施設の「天草市複合施設「こらす」」を会場としました。

校外施設と言う事で、事前の下見を数回行いましたが、入館者の検温や人数制限、会場の大きさにより制約がありました。特に、こらすの会議室を会場としたため、通常掲げられる国旗・県高P連旗の掲揚が出来なかった事もあり、スクリーンにプロジェクターで投影するなどして対応しました。

講演では、「情報教育講演」として、ビットクー株式会社で「ネットパトロール事業」を担当されている小宅歩様に「子ども達の携帯電話・スマートフォン」の安全利用についてと題して御講演頂きました。最近では、ゲームを通じた外部との接点に注意が必要だと話されていました。

研究発表では、上天草高校の齊藤会長より「進路指導とPTA活動」と題して、PTA活動の実践報告や進路先について、多彩な話術で発表頂きました。

昨年は、コロナ禍の中で実施されなかった本大会。本年は、昨年を上回る直前8月の感染拡大により心配していましたが、無事開催する事が出来ました。関係者全ての方に感謝申し上げます。



令和3年度「熊本県高P連研修会・PTA実践発表会」
自分で「自分の明日」を考えられる子どもに

令和3年度「熊本県高P連研修会・PTA実践発表会」が11月27日(土)熊本県立劇場大会議室において開催され、県下公立高校PTA会員及び学校関係者ら約120名が参加されました。

まず、各地区代表による実践発表が行われ、天草地区から上天草高等学校育友会、城南地区から八代東高等学校PTA、中央地区から熊本高等学校育友会、城北地区から玉名工業高等学校PTAの4校が、各学校の取り組みや、特色を発表しました。

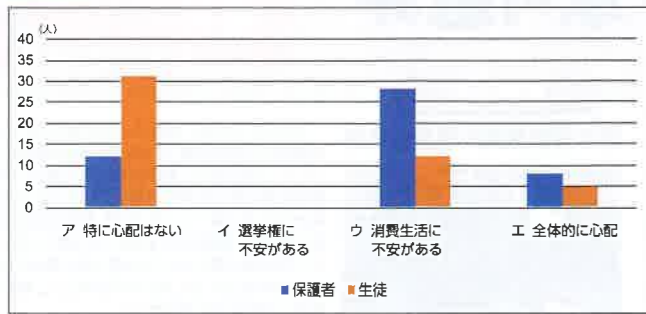
講評では、熊本県教育庁社会教育課長須恵勝幸様から「今後、学校・生徒・家庭が一体となった取り組みからさらに地域と行政との連携が必要。」などの助言を頂きました。発表後、令和4年6月に開催される九高P連大会長崎大会への本県代表を選考するための投票が行われ、玉名工業高等学校PTAが選出されました。

講演では、「心のしなやかさで次代を切り拓く」と題して、

元熊本県教育長で現在、熊本県立美術館参与の宮尾千加子氏から講演を頂きました。前半はくまモンの誕生秘話など宮尾様の実体験をもとに、失敗を恐れず自分で考え行動することを教えてくださいました。後半は、「子供たちにどんな力をつけて欲しいのか」という内容で、「自分の頭と心で考える子供になってほしい」「災害を経験して子供たちは大人が思っている以上に自分自身で考え行動している」ということを話されました。子供に対して、「自分の思うようになって欲しい」と思っている親が多い。「保護者が口を出しすぎる」ことが子供の考えや感性を奪っているのではないかと話されました。最後に子ども達には、「自分の頭と心で考える」「自分で自分の明日を考えて欲しい」とこの言葉を聞いて改めて親としての教育のあり方、さらに愛について考えさせられた素晴らしい講演会でした。



問5 この制度についてのあなたの気持ち



「成年年齢18歳引き下げ」に伴う心配について
 保護者の75%が不安を感じており、特に契約等の消費生活への心配が大きい。一方、生徒は大半が「特に心配はない」と思っており意識の差が大きい。「自分は大丈夫、ちゃんと対応できる」という思いだと考えられるが、実際の経験とともに、慎重な行動を伝えることが大切である。

「成年年齢18歳引き下げ」に関するアンケートについて

改正公職選挙法が2018年6月に施行され、いよいよ今年(2022年)4月1日、民法の一部改正により成年年齢が20歳から18歳に引き下げられます。成年として様々な権利を持つこととなりますが、その一方でこれまで未成年として保護されていたことが、これからは権利と一体に自己責任が問われるようになります。

アンケート回答者の性別



この度の県高P連新聞の編集にあたり、「成年年齢18歳引き下げ」を取り上げました。方法として県内5校を選出し、各校の保護者・生徒各10名(総数100名)にアンケート調査を行い、「成年年齢18歳引き下げ」について考えを聞きました。回答者について、保護者の男女比は1:2、生徒はほぼ半々でした。

我が校自慢の開発品・取り組み 家庭科系特集!

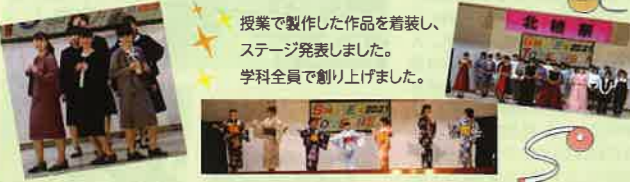
北稜高校

「北稜祭」で、「バザー」と「コスチュームショー」に取り組みました。地元玉名の食材を使用したお弁当の献立作成からレシピ完成まで試行錯誤し、おいしく仕上げ、好評を頂きました。

*バザー



*コスチュームショー [Smile Together ~明るい未来へ向かって~]



松橋高校

今年で7年目となる、宇城市にある道の駅「サンサンうきっ子宇城彩館」での高校生道の駅弁販売に取り組みました。11月20日(土)・21日(日)に行われた販売会では、開始時から行列ができ、松高生が考案したお弁当をたくさんの方々に楽しんでいただきました。



翔陽高校

コロナに負けない! 家庭系列

本校の家庭系列では、食物・被服・保育・福祉に関する13の家庭科目を学ぶことができます。今年度もコロナ禍に、思うような実習ができない中、「できることは何か」を模索し続け、様々な取り組みをしました。

11月の文化祭では、全校生徒へこれらの活動を披露することができました。私たちは、「コロナに負けません!!!」



八代農業高校

地域のスペシャリストを活用してさまざまな取り組みをしています。



米粉のロールケーキ
 八代地域の米粉インストラクターの先生と共に米粉のよさを学びながらクリスマスロールケーキを作りました。

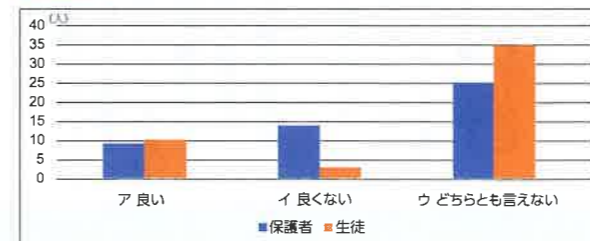
和菓子「練り切り」
 和菓子職人の方に技術を学びました。練り切りの技や小豆の炊き方、饅頭の作り方など丁寧に教えていただきました。



コスチュームショー
 3年生の文化祭では3年間で制作してきた衣装をショーで披露します。ドレス制作は私たちの集大成です。

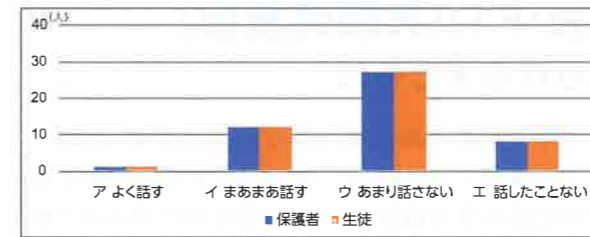
浴衣の制作と着付け
 和服士の先生に浴衣の制作指導をしていただきました。和服の技術の奥深さを学びました。

問1 成年年齢引き下げをどう思うか



保護者・生徒ともに、半数以上が「良いとも悪いとも言えない」と答えており、生徒は実に4分の3を占めている。また、保護者では「良くない」が「良い」を大きく上回っているが、生徒は逆に「良い」が「良くない」を大きく上回っている。成年年齢が引き下げられることで何がかわるのか、どうしたらよいのか実感を持って理解できていない様子が見られ、保護者は心配する気持ちが大きいように感じられる。

問2 成年年齢の引き下げについて家族で話し合ったことがあるか

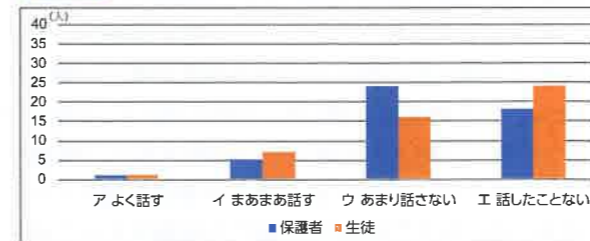


保護者・生徒ともに、約4分の3が「あまり話さない」「話したことがない」と答えており、この問題に対する関心があまり高くないように感じられる。

保護者と生徒の各回答が同数であった。



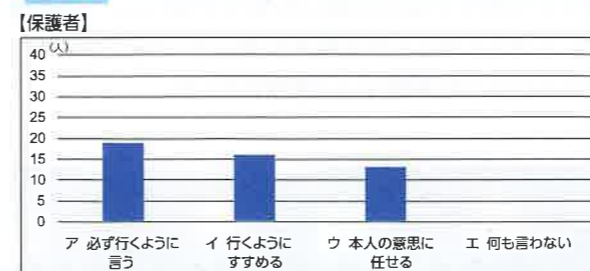
問3 クレジットカード等やローン契約について家族で話したことあるか



問2と同様に、保護者・生徒とも80%以上が「あまり話さない」「話したことがない」と答えている。携帯電話、クレジット等の契約トラブルが心配されている。

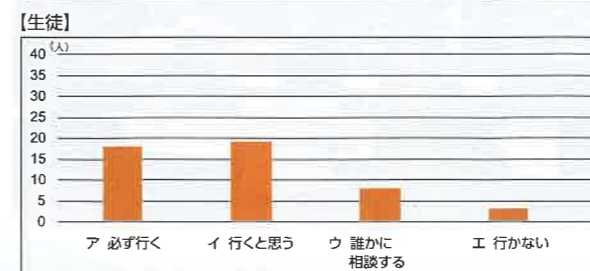


問4 選挙権についてどのような行動をしますか



保護者・生徒とも70%以上が「必ず行く(ように言う)」「行くと思う(進める)」と答え、公民権に対する意識は比較的高い。選挙権の行使は国民の有する最大の権利であり、国民生活に直結することから是非行動につなげてもらいたい。

ちなみに、2018年の参議院選挙からこれまで3度の国政選挙が行われており、10歳代の投票率は、46.8%、40.5%、32.3%と低下傾向である。



熊本工業専門学校

学校法人 開新学園

21世紀に求められる豊かな人間性と
 クリエイティブな人材育成を
 めざします

職業実践専門課程 全学科

自動車整備工学科 80名
 電気システム科 40名
 機械システム科 40名

〒861-8038 熊本市東区長嶺5丁目1番1号
 TEL 096 380 8645 FAX 096 380 8646
 info@kumakosen.jp
 https://www.kumakosen.jp
 0120-00-8645



熊本県立御船高等学校

本校は令和3年度の今年、学校創立100周年を迎えました。普通科、電子機械科、普通科芸術コース（音楽専攻、美術・デザイン専攻、書道専攻）が設置され、特色ある教育活動が行われています。熊本市中心部から南東に約15キロ、豊かな自然に囲まれた場所に御船高校はあります。御船（みぶね）の歴史は古く、その地名は日本武尊（ヤマトタケル）の父である景行天皇が九州平定の御巡行の際、御船（みぶね）を着岸させたことに由来するとされています。

さて、本校はテクノロジー（技術）とアート（芸術）を両翼に持つ学校として活躍しています。特に全国高等学校ロボット競技大会では9度の全国制覇を誇り、芸術分野においては全国高等学校総合文化祭書道部門で今年2度目の日本一に輝くなど名を馳せています。今

- 三綱領
- 一 誠実以て人に接す
- 一 自ら進んで学を修む
- 一 自律以て己を処す



創立100周年記念式典



創立100周年ロゴ



R3育友会役員

育友会広報紙の編集会議



長距離走大会（炊き出し）

令和3年度県教育委員会と県高P連の教育懇談会

令和3年12月16日、古閑教育長を始め関係各課に出席いただき教育懇談会を開催しました。この懇談会は、高校教育への知見を広げ、相互理解を深めることで本県高校教育の振興に連携して取り組むために平成22年度に始まり、今回で12回目を迎えました。

始めに夏木会長から県高P連の活動について説明が行われました。続いて県連から事前に出されていた質問と要望について、教育委員会から文書で回答をいただきました。特に数年にわたり要望してきた、エアコン及び関連経費の公費への移行については、教育委員会として予算請求をしている旨、大変前向きな回答をいただきました。フリーマーケットは、「ICT教育と学力」「ICT教育によって教育活動学力の質はどのようになるのか」について意見交換をしました。現在、生徒全員にタブレット端末が貸与されICTによる授業が進められています。教育委員会の説明では一人一人の理解の状況が細やかに把握できる。いろいろな画像や資料を画面で見ながら学習でき、学習への意欲や関心が高まるなど、教育効果が期待されています。高P連の参加者からは、ハード面・ソフト面の支援、ICTと対面型学習のバランス等、意見・質問・要望などがだされ活発なフリーマーケットになりました。最後に古閑教育長から、「熊本県はICT教育日本一をめざす」と力強い言葉で締めくくっていただきました。



夏木会長 古閑教育長

参加者からは「教育委員会・高P連参加者ともに、子どもたちのごことを熱心に考えていることを強く感じ有意義な懇談会だった。」「ICTを含め、保護者として学んでいくべきところがあると感じた。」など勉強になったという声が多く寄せられました。これから授業参観に行きましょう。研修会に行きましょう。そこに保護者が経験したことのない、子どもたちが生きていく未来の社会が見えるのではないかと思います。

我が校自慢の開発品・取り組み

福祉科系特集!

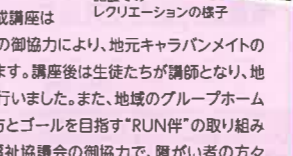
甲佐高校

本コースは上益城郡唯一の普通科福祉系コースです。地元の福祉関係施設で介護体験・保育体験を実施し、一部の授業では外部講師として福祉・医療専門職の方に来ていただいています。



認知症サポーター養成講座の様子

認知症サポーター養成講座は、地域包括支援センターの御協力により、地元キャラバンメイトの方を中心に実施しています。講座後は生徒たちが講師となり、地域の方々へ啓発活動も行いました。また、地域のグループホームの御協力で、認知症の方とゴールを目指す「RUN伴」の取り組みに参加したり、町社会福祉協議会の御協力で、障がい者の方々へ啓発活動も行いました。また、地域のグループホームの御協力で、認知症の方とゴールを目指す「RUN伴」の取り組みに参加したり、町社会福祉協議会の御協力で、障がい者の方々へ啓発活動も行いました。また、地域のグループホームの御協力で、認知症の方とゴールを目指す「RUN伴」の取り組みに参加したり、町社会福祉協議会の御協力で、障がい者の方々へ啓発活動も行いました。



施設でのレクリエーションの様子



外部講師（福祉施設職員の方）の講義

南陵高校

熊本南部豪雨災害支援活動



令和3年3月18日、福祉コース2年生20名で、災害直後から支援活動に尽力しておられる地元のボランティアの方々のご指導のもと、床上浸水した家屋の床木の泥を取り除く作業を行いました。災害から8ヶ月が経っていましたが、災害当時のまま取り残された家屋がまだまだたくさんあり、ボランティアの力を必要とされている方が大勢おられることを知りました。少しでも力になりたいと、全員で集中して作業に取り組みました。

生徒の感想

● 木材の中に入り込んだ泥の掃除という簡単な作業でしたが、やってみると思ったよりきつかったです。腕と手が痛かったです。しかし、暑さ終わってきれいになった木を見た時は、達成感とやりがいを感じました。

● 思っていた以上にきつかったです。もしこれからボランティアや災害支援活動をする機会があれば自分から参加して誰かの役に立てる人になりたいです。



● 被災者の方の話も聞いて良かったです。自然災害についてもよく知ることができ、興味を持っていました。今から人吉・津島が元に戻るように、若い人たちが中心となって引っ張っていかないとはいけません。被災者の方の話を聞いて良かったです。自然災害についてもよく知ることができ、興味を持っていました。今から人吉・津島が元に戻るように、若い人たちが中心となって引っ張っていかないとはいけません。被災者の方の話を聞いて良かったです。自然災害についてもよく知ることができ、興味を持っていました。今から人吉・津島が元に戻るように、若い人たちが中心となって引っ張っていかないとはいけません。

上天草高校

令和3年度熊本県介護の体験・調査学習を通じた魅力発信事業の一環として、地域の小・中学生を対象にした福祉体験学習講座を計画している。

目的は、福祉・介護に対する考えや思いを地域の小・中学生に発信し、受講した児童・生徒に基本的な介護の動作やバラスポーツ等を体験してもらい、福祉・介護サービスの意義や重要性の理解へつなげることであります。

写真は、バラスポーツの1つであるポッチャについて、専門家より基本的なルールや、小・中学生への指導方法を教えていただいた時の様子である。



小学生用の特別ルール考案・発表



ポッチャ体験



基本ルール説明

八代農業高校

2年次に介護職員初任者研修を受講します。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、福祉に関する校外実習が実施できませんでしたが、多くの外部講師の先生方から専門的な知識や技術を学んでいます。



5月 介護職員初任者研修 開講式



理学療法士の方から「ヒトの動き」について学びます



手話講習会「こんにちは」の手話です



3年生との合同演習 先輩から介護技術を学びます



認知症サポーター養成講座

芦北高校

スローガン「あたらしい幸せ」をデザインする

①「車いすバスケットボール体験会」
講師の先生に来ていただき、バラスポーツを体験しました。パラリンピック日本代表の選手から教えていただきました!

②「特別支援学校との交流」
特別支援学校の生徒と交流会を行っています。今年はパラリンピックでも盛り上がった「ポッチャ」を体験しました。

③「VR認知症体験会」
認知症の方の状況(記憶など)をVRで体験することにより、「自分がその立場だったら?」と想像力を養い、すれがいに気づき、本質的な問題に目を向ける授業です。

④「Chromebookを活用した授業」
一人一台、端末を持っており、授業での活用はもちろん共同学習や事例研究発表などに活用することで、「主体的・対話的で深い学び」を実現しています。

⑤「介護の日inくまもと2021」福祉体験発表部門 最優秀賞

⑥福祉科コンテストムービー (YouTube)



QRコード

グランドコース
幅広い志望校に対応した習熟度別カリキュラム
スタンダード

ESPゼミコース
少人数ならではの個々に合わせた指導
医進系少人数制

リベルテコース
授業料無料。必要な授業だけを選択して受講
東大・京大専科

コレスポコース
映像授業・AI学習を自宅で受講。受験指導・質問対応も
オンライン受講

キタヨビハイスクール
高校1・2・3年生対象 会員制自習室&学習プログラム

集中できる 質問できる 自習室

いつでもどこでも視聴 VOD

最新のAI学習で 数学が劇的に伸びる! atama+

生徒数全国第3位!九州・山口ではダントツNo.1! JR熊本駅白川口正面 ●理事長・西本校校長 大久保 了 (元熊本高校校長)

北九州予備校熊本校 ☎0120-181509

2021 合格実績 正真正銘、浪人生のみの実績です

医学部 424名 九州大 160名

熊本県PTA共済のご案内 (熊本県PTA教育振興財団)

生徒の皆さん、PTA会員の皆さんの教育活動中の被災に対して共済金を給付します

生徒の学校生活・部活動・登下校中、
PTA活動参加中の事故に対して：**P災コース**
PTA会員（保護者、教職員）のPTA活動
参加中の事故に対して：**安互コース**

死亡共済金：事故や急性の疾病による死亡、突然死
後遺障害共済金：事故や急性の疾病による後遺障害
交通事故共済金：交通事故による死亡・傷害・負傷
歯科特別共済金：保険外治療を必要とする場合

- *いずれも活動参加への往復中を含みますが、公共交通機関を利用中の事故は除きます。
- ***保護者**は、学校行事参加中の事故を含みます。
- ***教職員**で部活動指導にかかわる方はP災コースへの加入ができます。公務災害は除きます。

守ろう！自分の命も周囲の命も！

高校生の登下校中の交通事故が減りません。交通事故共済金給付請求の90%近くが高校生である月もあり、中には一旦停止や左右確認を怠ったために起きる事故もあります。自転車の通行規則を守り、できればヘルメットの着用をお願いします。事故発生時は、軽傷であっても必ず警察に通



報し事故処理を受け、事故発生から30日以内に医療機関を受診するとともに、事故についてPTA共済の担当者にご連絡ください。

詳しくは
PTA共済ホームページを
ご覧ください



(財)熊本県PTA教育振興財団
096-223-7119 月曜～金曜 9時～17時
<http://www.kumamoto-psai.net/>

熊本県公立高等学校PTA連合会

生徒総合保障制度のご案内 (子ども総合保険+自転車総合保険)

熊本県公立高等学校PTA連合会生徒総合保障制度は、ケガや自転車による賠償事故など学校生活のみならず、日常の暮らしの中でおこされが直面する危険を幅広く補償する制度で、熊本県公立高等学校PTA連合会の推進事業です。

個人賠償責任補償 (示談交渉サービス付き)*

生徒やそのご家族があやまって他人にケガをさせたり、他人の物をこわしたりして、法律上の損害賠償責任を負った場合に補償します。

※授業および部活動などの学校管理下における活動中やスポーツをしている間は、法律上の損害賠償責任が生じないことが多く、補償の対象とならないことがあります。また自動車使用中(運転、ドアの開け閉め等を含みます。)やバイク運転中の事故は補償の対象とはなりません。

お支払金額 60,000円

※示談交渉を行う場合は、損害賠償および被害者の同意が必要です。国内のみのサービスとなります。

支払例

自転車走行中に駐車していた車に接触し、車に傷つけてしまった。



自転車事故重点補償

生徒が自転車に乗っている間にケガをした場合、または乗っていないときに走っている自転車と接触しケガをした場合の補償が厚くなります。

支払例

自転車で転倒し足を骨折。10日間入院し、退院後10日間通院した。

お問い合わせ先

保障制度担当代理店(株)コーリン

0120-228-553

受付時間：平日/午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)
〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F
制度引(受保険会社)：AIG損害保険、東京海上日動火災保険、損害保険ジャパン(株)
ご加入の際は、パンフレットおよび重要事項説明書必ずお読み頂いた上でお申し込みください。

簡単支払 特急便

スピード対応 お電話一本で手続き完了

ケガによる入院・通院、病気による入院・手術で10万円以下のご請求は、電話による事故報告のみで保険金をお支払いします。

●PTA団体割引制度により 保険料は約33%割引

※割引率についてはこのチラシで案内している保険料の算出基準である保険料(加入者20名未満の団体における保険料)に對しての割合を示します。適用される割引率は前年度の加入者数、過去の損害率等に応じて決定します。次年度以降、割引率が変更となる場合がありますので予めご了承ください。

当制度は、PTA団体加入制度のため、約33%の保険料が割引されています。4種類のプランからお選びいただけます。1年間の掛金3,190円～。(プラン・補償開始日より、掛金は異なります。)

S-220140(2022-03)

編集後記

今年度、他の委員会と比べて一番大変という「調査広報委員」に手を挙げて参加しました。しかし、委員になってみると、大変というよりも様々な学校、PTAの取り組み、生徒の頑張りや学校の魅力をたくさん知ることができ、やってよかったと思います。また、その編集に携わることができたことはすごく貴重な経験になりました。

第51号では「成年年齢18歳引き下げ」に係わるアンケート調査を行い、高校生と保護者の意識について特集を組みました。家庭内で話題にしていただけなら幸いです。

調査広報委員 石川 秀幸

○調査広報委員長

阿蘇中央高等学校 育友会会長 池部 奨

○調査広報委員

鹿本高等学校 PTA会長 石川 秀幸

必由館高等学校 必由会会長 若木 恵介

松橋高等学校 PTA会長 敷島 武士

八代清流高等学校 育友会副会長 光瀬 純子

○顧問

阿蘇中央高等学校 校長 酒井 一匡